

# 小値賀中だより 心の架け橋

校長室から 文責 森田 美智子

平成 22年 2月 19日 発行



## 学年末テストはじまる！

学年末テストは、1年間の中で一番最後に、また一番範囲が広く、本年度の学年で学習したことの総まとめのテストです。完璧に復習して受けたと言う人もいるとは思いますが、あまり勉強せずに受けたという人もいるのではないかと心配しております。今日からそのテストの解答用紙が採点されて戻ってくる。待ち遠しい人もいることと思います。先生方も休日返上で、また眠い目をこすりながら頑張って採点をされたことでしょうか。感謝してもらってください。先生方の採点作業も、集中して付けるとはかどるものですが、集中しないときは採点ミスも多くなります。採点していて98点とか高得点が出てくるとますます気合が入ります。反対に40～50点ばかりだと、がっかりしてしまいます。おそらく今も先生方はそんな気持ちで採点されているのではないかと思います。試験作成者が予想していた答え以上の解答が出てくるともありません。先生方はテストの出来・不出来で自分の授業の進め方はこれで良いのか？宿題の出し方もこれで良いのか？と悩まれるのではないのでしょうか。テストは生徒の持っている学力を測るための手段と、先生方にとっては自分の授業への検証に活用するためのものです。本校の学力向上には大いに役に立っていると考えます。きついけどしっかり乗り越えてください。・・・お疲れ様でした。

## 公立（北松西高等学校）入試が3月4日・・・緊張が高まります。



3年生は目前に、3月4日の公立高校の入学試験が迫っています。最終的にはここで実力を発揮できるように学力をつけておくことだと思います。北松西高等学校も、600字程度論文作成と面接試験が行われます。日頃からきちんと机に向かう習慣が身につけている人は、余裕で臨めると思います。

- 論文は
- 1, 日頃からしっかりいろいろなことを考えていること、
  - 2, 書く練習を何度もやっておくことが大事だと思います。

先日高校の先生とお話したとき嬉しいお言葉をいただきました。

「学習の記録を見ているのですが、4月に書いたものと、1月に書いたものでは大きく違って、成長しているのが見て取れる。」と、同じレポート1枚にしても、頑張っている人は頑張った分がそれに表れているということなのでしょう。積み重ねの学習は必要です。「継続は力なり」。面接も同じことが言えると思います。自分で頑張っておかないと、面接の時にその自信の無さがちょっとした言動に表れます。「努力に勝る天才なし」・・・卒業生全員の合格を祈ります。卒業生全員の春・・・はすぐそこまで来ています。最後まで気を抜かず頑張ろう。

## ～小中高一貫教育～地区推進委員会・・・2月10日開催されました。



小中高一貫教育で行っている行事についてはよくご存じだと思いますが、そのほかにもたくさんの取り組みをしています。特に本年度力を入れたのは、「授業公開ウィーク」、「帯タイム」「乗り入れ授業」「合同教科」「マイスター制度（検定試験）」等、保護者の皆様もよくご存じない取り組みも多いかと思いますが、小中高の各先生方は精一杯、子供たちの学力向上のために努力されています。

その活動についての1年間の反省や、次年度に向けての取り組みについてなど、検証し話し合いました。その中で一つ、「中学生の学力」を標準的に検査するタイミングがないので、本当に力がついているのかが不安であると思われる保護者からのアンケートでの疑問があったようです。学校としましては、3年生については、全国学力学習状況調査の結果は、各個人に渡し、学校全体の成績についても、3学年保護者の方には配布済み。国語・数学の問題でした、数学では基礎問題より応用問題の方ができが良かったです。全国平均よりも良い結果でした。自信を持っていいと思います。

### 「夢を語る会」パート1



2月14日、4校時目  
10名の卒業生がそれぞれの将来の夢や、やりたい仕事について語ってくれました。お互いに質問し合い、考えを深めていた。楽しい雰囲気で行われました。

2/14（男子4名・女子6名組）パート2、パート3も近々予定しています。

### 避難訓練～不審者侵入への対応～



2月15日、4校時目 警察官の方に不審者となり教室に侵入していただき、本校職員で取り押さえる訓練

を実施。さすがに威力を発揮していました。どこでも「危険回避」できる能力が必要。

